

野町

神社	野町高野神社
寺院	信覚寺
その他	関所跡
	監視壕

野町高野神社

祭神は、天忍穂耳命(あまのおしほのみこと)・伊弉諾命(いさなぎのみこと)・伊弉冊命(いざなみのみこと)である。

祭殿は一間半、拝殿は二間三間。寛永十四(一六三七)年勧請(かんじょう)されたとの記録がある。英彦山権現(ごんげん)の分身ともいわれている。祭礼は夏祭りが七月十七日で、集落全戸を回って「お獅子入れ」があり厄払いをする。若衆や子供が法被(はっぴ)姿で雄雌の獅子頭と御幣(ごへい)をもって集落の家ごを回り、獅子頭を「カタカタ」と打ち鳴らしながら、玄関や庭で獅子入れをする。こうして厄神(やくじん)を送り出し、家の忌(い)みけがれを祓(はら)い、五穀豊穡の祈願をして回るのである。夏の大祓(おほはらえ)の行事として田植えの後の行事である。また、九月一日は「八朔(はっさく)」として田の実りの祝いとして子供相撲大会がある。十月十八日は秋祭りとして全戸総出で注連縄(しめなわ)を作り、境内にある大日堂・大国蛭子(だいくえびす)石神にも注連縄を飾る。境内には、他に「イボ神様」が祀(まつ)られている。

朝園

公園	朝園区公園
----	-------

★朝園は、終戦前に大刀洗航空廠(こうくうしょう)関係の従業員を収容するために急造された住宅があった所で、戦後の引揚者などを受け入れる住宅となったものです。

もともとここは、朝影と言っていました。昔むかし、依井長者という、大変なお金持ちがいたそうで、その家に大きな楠の木があって朝のうちはこちら一面が、その楠木のため日陰になったというので、朝影といったと言います。この依井長者はいつのころか没落してしまいましたが、この長者が地中に埋めていた金の精は、毎年師走の二十九日になると、ここを行列してまわり、その中の白い馬に触ると大金持ちになるといわれていました。

長者でもなんでもなかった私たち祖先が、年の暮れの二十九日の晩、ひょっとすると白い馬に出会って、突然大金持ちになるかもしれないという、夢のある話です。

★地名の由来や伝承等ご存じの方は、下記までご連絡ください。

お問合せ:筑前町社会福祉協議会
(筑前町篠隈373コスモスプラザ福祉館)
TEL:0946-42-4555(担当 時津、石丸)
Eメール:chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp

歴史を感じて

三輪⑤新町区、朝園区、野町区マップ

この資料は、筑前町の歴史、三輪の昔ばなしなどをもとに作成しています。


ぷら～り



散歩



新町

神社	西宮神社
公園	ふれあい広場 

★新町は、商業の町を新たに置いたことより、新町という名前になったそうです。新町公民館は、祝勝館と言われ、日清戦争・日露戦争の勝利を祝って付けられたそうです。

春は、草場川の桜並木がきれいです。



新町マップ

ふれあい広場 (久光区になります)

西宮神社



新町区公民館



野町マップ

野町区公民館

朝園マップ

信覚寺

朝園区公民館



朝園区公園



関所跡

野町高野神社



監視塚



いほ神様

野町の関所跡

江戸時代、秋月藩から甘木領地を通らずに、(甘木は福岡藩の領地のため)久留米へ通ずる街道を設定して、依井村内に野中新町を作り、宿駅として関所を、設けました。(実際は、200mぐらい南にあった。)この野町宿の新設に伴い、久留米藩でも松崎宿を新設したので、久留米・松崎・野町・秋月が、重要な街道になっていました。野町という地名は、このあたりが一面の野原だったところから名付けられたのでしょう。

ニチバンの中にあります。事前の予約が必要です。



9月9日(重陽の節句) コロナ禍の中、密集をさけるため、公園の片隅で数名の方が、口の体操をされていました。毎日集まっているとの事でした。